

市議会だより

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会
平成26年(2014年)9月1日

GOJO

No.52



ひゃくじつこう
(藤岡家住宅庭園 百日紅 (別名: さるすべり))

五條市議会第2回6月定例会の概要

平成26年第2回6月定例会は、6月2日に開
会して会期を18日までの17日間と決定し、初日
に市長から、4月から6月までの市政の報告と
本定例会に提出する議案の説明を受けました。

本定例会には、平成26年度一般会計補正予算
及び介護保険特別会計補正予算を始め、五條市
地域体育施設条例の一部改正、市道路線の変更
と廃止、五條市教育委員会委員の任命同意など
の重要案件が市長から提案されました。

また、議会からは、鳥獣の捕獲促進体制強化
の速やかな実施を求める意見書を始めとして
「手話言語法」制定を求める意見書、五條駅南
北連絡道路の早期実現を求める決議などを提案
して慎重な審議を行うとともに、6日と9日に
は10人の議員が一般質問を行い、6月17日に閉
会しました。

目次

一般質問	2～6ページ
表決結果と議決結果	7ページ
決議・意見書	8ページ
組合議会の報告ほか	9ページ
活動報告ほか	10ページ

一般質問

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

山口耕司 議員

一般不妊治療の助成について

山口 厚生労働省は、不妊に悩む方への特定治療支援事業として、不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費が掛かる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成している。

平成24年度助成延べ件数は13万4,943件と年々増加しており、こうした社会情勢の中で、五條市の少子化対策の施策として、他市でも実施されている一般不妊治療を実施していただきたく質問する。

すこやか市民部長 不妊治療の有病率は日本生殖医学会によると、妊娠を希望する人の約9%と推定され、その治療は多岐にわたたり、受診者の精神的負担のみならず、多くの時間と高額な費用を要する治療。

不妊の治療にはホルモン療法や人工授精などの一般不妊治療と体外受精や顕微授精の特定不妊治療があり、その費用は一般不妊治療で1回約1万円から6万5千円、特定不妊治療で1回約30万円から約36万円となる。

県内他市の不妊治療費助成は、奈良県が特定不妊治療を上限15万円まで、奈良市・桜井市・宇陀市

・天理市など一般不妊治療第1子の治療に掛かった費用の2分の1、上限5万円を助成している。

少子化対策の観点からも大変重要であり今後検討してまいりたい。**市長** 不妊治療は、少子化対策のみならず安心して子供を育てるための前段階としても重要なことと認識している。

今後、県内他市、助成を行っているところもあり、当市でも助成の実施の可否については考えてまわりたい。

(紙面の都合上質問事項のみ掲載させていただきます。)

1 地域包括ケアシステム構築のための施策について

①日常圏域のニーズ調査と分析について

②認知症高齢者対策について

③高齢者の住まいについて

④多様な生活支援サービスについて

2 子ども・子育て支援新制度について

3 地域公共交通について

平岡清司 議員

大規模な災害が発生した場合の大川橋、栄山寺橋に架かっている水道管について

平岡 大川橋、栄山寺橋、御蔵橋の完成時期と耐震について尋ねる。

水道局長 大川橋の完成が昭和38年で、野原地区給水は昭和39年頃完成で52年が経過。栄山寺橋は平成4年2月に完成し給水は約22年。

御蔵橋は昭和29年に架替工事が完成し給水は約45年。大川橋の耐震強度は上部工を当時の基準で耐震補強し、下部工は平成27年度から平成31年度に耐震補強工事を予定。

栄山寺橋は緊急輸送道路にあたりなため、耐震補強の優先順位は低い。御蔵橋は平成9年度頃に耐震補強工事を施工している。

平岡 大川橋が落橋した場合、どのような被害になるのか。

水道局長 落橋した場合は、野原地区、阪合部地区、南宇智地区、二見3丁目及び7丁目の一部が断水、濁水の被害になる。

平岡 落橋した場合はどのような対策を考えているのか尋ねる。

水道局長 現在、簡易水道計画認可区域内の統合により、白銀地区簡易水道の配水管が湯川まで布設されており、野原側付近の配水管

に接続、川南地区への緊急時のバックアップ施設として、現実化に向けて検討する。

中央公園について

平岡 五條市直営の中央公園の休日の利用者数を尋ねる。

都市整備部長 5月24日(土) 437人、25日(日) 513人、自動車212台です。

平岡 ふわふわドームの時間帯を季節に合わせて変更するなど、今後の計画について尋ねる。

都市整備部長 職員が事故のないように監視しなければならず、勤務体制の変更を検討し、遊具の設置は、近隣自治会と協議し、設置していく必要がある。

平岡 休日には、多くの人が訪れるので、近隣自治会の方々にお店を営業していただくことは可能か。

都市整備部長 都市公園法では売店や飲食店を設置は認められており、条例に定められた申請を行い、公園管理者の許可を受ければ可能である。

平岡 是非とも近隣自治会の方々にお願ひしていただきたい。

市民プールを老朽化で休止するなら中央公園で幼児用のプールの建設ができないか市長に尋ねる。

市長 個人的には非常に良いと思う。今後、視野に入れて検討する。

窪 佳秀 議員

防災対策について

窪 本市の防災資器材・防災物品の備蓄の現状について伺う。

危機管理監 市内20箇所には防災倉庫が設置され今年度は3箇所設置予定である。防災倉庫の備蓄物品は、非常食8千食、食パン2,722個、毛布400枚、簡易組み立てトイレ20基、油圧ジャッキ195基、ボール等である。

窪 備蓄倉庫には市全体の備蓄を分散しているのか。設置場所の各地区住民に対し備蓄しているのか。

危機管理監 備蓄量は、各地区の人口割ではなく、おおむね同数を有事の場合のリスクを避けるため各地区に分散して保管している。

窪 住民は地域の備蓄倉庫と考えており人口、世帯数からみて備蓄量に不安を感じている。粉ミルク・オムツ・高齢者用食・テント等備蓄品の見直しも含め自主防災組織の備蓄との連携について伺う。

危機管理監 市内20箇所にある防災倉庫の内10箇所は自主防災組織が独自で毛布等備蓄しており、市の備蓄と区別している。今後、自主防災組織の様々な活動を支援し、

意見交換会等連携を密にしていこう。

窪 自治体との応援協定締結の現状について伺う。

危機管理監 締結件数は5件、締結自治体数は17市町村である。

窪 応援協定書にある支援物資・資器材等の準備は整っているか。

危機管理監 市の備蓄から求めに応じ支援物資を確保する。

窪 自主防災対策費について伺う。

危機管理監 新設した活動推進事業は備蓄倉庫・発電機・各種研修会等の経費が該当し2分の1の補助で上限は10万円である。

五條市の活性化について

窪 インターチェンジの整備と周辺の利用計画の進捗状況を伺う。

都市整備部長 今年度は区域を拡大してコスモスを植栽し景観の向上を図り草食動物のヤギをインターの緑地に放牧する社会実験を国に申請している。五條インター周辺活性化調査業務委託は、今後関係機関等と協議を行い市の玄関口となるよう業務内容の検討を行う。

市長 インターチェンジは南和の拠点として、観光案内所もふまえて県と連携し通過点にならないいろいろな仕掛けをしていく。

養田全康 議員

大規模災害における防災・減災について

養田 東日本大震災の被災地である福島県南相馬市に炊き出しボランティアとして参加させていた。避難所でいろんな話を聞かせていた中で一番最初に困ったことは何か尋ねると避難場所や避難経路ということであった。そう考えると現在五條市には避難経路の指定はない。しっかりと避難経路・避難場所を市民の皆様に表示していただきたいと思っております。

防災倉庫の視察を行い、備蓄量がほぼ一定で疑問に感じた。地域の人口を調べ、過去の災害を基に備蓄量を割り出していきたい。また、五條市に111箇所存在する避難所を約50箇所に絞っていくとのことだが、危険箇所を除いた場所の選定を願う。

危機管理監 災害時における住民への伝達方法として、Jアラートの自動起動装置を昨年導入した。また、携帯電話所有者に一齐送信できるエリアメールやこまどりケーブルとも提携している。今後については、防災行政無線

の整備をしていきたいと思う。

養田 防災無線を五條市は考えているようだが、茅ヶ崎市などは防災ラジオを活用し安価で防災活動に取り組んでいるようである。

しっかりと五條市に合った形で人命、財産を守るように計画していただきたいと思う。また病院や老人ホーム、高齢者や障害者など避難弱者に対してどのようにサポートしていくのか取組や支援方法があれば教えていただきたい。また、無ければ今後どのように改善するのか教えていただきたい。

危機管理監 避難行動要支援者に対しては、台帳システムを立ち上げ福祉部門と連携をして行動要支援者の特定とその方を支援していただく方との計画作りを進めていきたいと考えている。

養田 今後、南海トラフ地震が想定される中で、きちんとした防災計画が必要になってくると考える。災害は起こらないのが一番いいが、もしものためにどう減災するか、事前の備えが重要だと感じている。しっかりと市民の皆様に分かりやすい方法でマニュアルの制定をして防災訓練を行っていくのが良いと強く願います。

吉田雅範 議員

し尿処理施設建設事業について

吉田 し尿処理施設建設工事の進捗状況についてお尋ねしたい。

産業環境部長 5月末現在で全体事業の58%が完了しており、年内に全ての建築工事と機械設置工事を完了させ、来年1月から試運転を開始し、3月末のしゅん工を目指しているところである。

吉田 地元二見地区自治会からの要望に対する考えをお聞きしたい。
産業環境部長 昨年の6月17日と9月4日に二見地区自治連合会から要望書が提出され、その内容は川端自治会を始め8自治会から公園整備、市民農園、防災施設、治水・道路整備、集会場整備などである。施設建設に御協力をいただいていることを真摯に受け止め、環境整備事業が円滑に進むよう関係各課と協議を行い、本年5月23日に要望書の回答を行った。

吉田 し尿処理施設は迷惑施設の一つであると考えているので、十分に精査して要望に添えていくためにも努力していただきたい。

(仮称)五條総合体育館について

吉田 (仮称)五條総合体育館の今日までの経緯・経過についてお尋ねしたい。

都市整備部長 平成24年12月27日に全国高校総体開催を契機とした南部・東部地域おこし説明会があり、五條市でフェンシング競技を受け持ち、体育館を建設することを決定して建設候補地を上野公園高台駐車場とした。平成25年4月以降に測量業務、地質調査業務、基本構想業務を発注し、実施設計業務は平成26年3月末に完了した。

市長公室長 平成26年3月17日に入札依頼があり、建設工事等請負業者選定審査会及び総合評価審査委員会を開催し、3月26日に入札公告を行ったが入札参加資格申請書等の郵便物が期限までに届かず、5月7日に入札中止の決定をした。
市長 完成に向け努力をしているが、大変厳しい状況で、早く着工できるようにこれからも努力したい。

(その他の質問事項)

- 1 市税等の徴収状況と滞納者の取扱いについて
- 2 一般会計予算の繰越明許費の問題点について
- 3 五條駅南北道の早期実現と経緯・経過について

岩本孝 議員

五條市学校教育アドバイザーチームについて

岩本 幼稚園や学校を支援する五條市教育アドバイザーチームとは、具体的にどのような取組をしているのか。今後の予定は。

教育部長 子供たちが登下校するまでの全ての教育活動の様子をチーム全員で見学。学校の教育目標や経営方針、学校評価、人権教育あるいは生徒指導、研究、研修など、県の教育課題に関する取組等について直接教職員からヒヤリング、授業参観後の意見交換を行うことで、学校経営に取り組み管理職や教職員への指導と支援を行う。昨年は、五條幼稚園、北宇智小学校、西吉野小学校、西吉野中学校を訪問。今年は、牧野小学校、宇智小学校、五條東中学校を訪問予定。年間、3ないし4校をめどに訪問する。

岩本 一周回するのに3年以上かかる。環境とかはすぐく変化するのでせめて年間6校とかの考えはないのか。

教育部長 事前打ち合わせ、学校から資料を提供していただき、多方面からそれを検討し、当日調査

する。学校に負担が掛かるとの点で、今現在3校から4校を予定しているが、今後検討していく。

簡易水道について

岩本 簡易水道の普及率は。

水道局長 五條市全体の普及率は上水道を含め、約97パーセント。そのうち西吉野町は約94パーセント、大塔町は平成26年度事業が完成すると約52パーセントである。

岩本 西吉野・大塔地域から簡易水道に関して要望がたくさんあると思う。老朽化した既存の施設の統合をどう考えるか。「水は命」、ライフラインの中で重要な部分を占める。財政的に厳しい問題もあると思うが今後の対応は。

市長 大塔町・西吉野町・山間地域に、未だ点在する水道未給水地域への対応も踏まえながら、水道、簡易水道事業と下水道事業との連携や経営の合理化を見据え、また、災害の緊急時にも対応できるように計画を進めてまいりたい。老朽化した部分と新規事業とを合併することにより、より早くその辺の対応ができる。水源地の問題もあるので、財政的なものも踏まえ、総合的な判断をしながら今後とも早急に対応してまいりたい。

福塚 実 議員

少子化と人口減少対策について

福塚 少子化の問題は大変深刻で、五條市としても様々な施策を講じて取り組んでいかねければならぬが、少子化対策の一環として立ち上げた五條市結婚相談協議会について伺う。

あんしん福祉部長 五條市と社会福祉協議会、商工会の三者で構成する五條市結婚相談協議会は、市長から委嘱された相談員が結婚相談の登録、相談者への助言・指導紹介を行うもので、7月から福祉センターで月2回の開設を予定している。まず広報活動を重点的に、2年間を試行期間として2年後に再度検証をする。

福塚 人口減少に対する取組として考えられるのは、まず企業誘致において、働く場所の確保、雇用の安定、地場産業の促進などが考えられるが、取組について伺う。

産業環境部長 市内の企業のPRを兼ねた五條市就職応援フェアの開催や企業に対する奨励金制度・優遇措置等で雇用促進に取り組んでいる。



下水道事業について

福塚 下水道事業の進捗状況についてはどうなっているか伺う。

都市整備部長 平成25年度末で供用開始面積568.85ha、市全体の普及率53.2%、水洗化率73.3%となっており、水洗化率向上のため吉野川フェスタ等のイベントで啓発活動を行っているが、事業費予算が少なく長期的な計画はできていない。

ごみ屋敷の対応について

福塚 近隣地域の生活環境の保全それに伴うトラブル回避、啓発活動による抑止力の観点から、ごみ屋敷の対応として条例化に向けての取組はどのように考えているか。

産業環境部長 条例を制定している自治体も問題解決にはなかなか至っていない。住民の良好な生活環境が損なわれることがないよう対象者の事情を把握し、地域の協力はもとより関係各位との連携強化で早期発見、解決を図りたい。

市長 地域住民とのコミュニケーション不足も原因の一つであるが、条例化に向けてこれから検討をしてまいりたい。

宗部 康寛 議員

二見保育所の跡地利用について

宗部 耐震性防火水槽及び防災用倉庫の計画と聞いているが、完成時期は。

危機管理監 「防災施設を兼ね備えた公園」として、今年度、耐震性防火水槽と防災用の倉庫を設置する運びとなっている。

宗部 公園整備として、災害時の避難場所、また多目的に有効利用できるような地域住民に開放され、子供たちが交流できるスペースであり、東屋のような休憩所設備も要望したいが。

都市整備部長 防火水槽や防災倉庫を現在計画しており、基本的には防災広場として空地の上面整備を行っているが、植栽や東屋等も検討したい。

宗部 地域の要望または地域性を考慮した上で進めていきたい。

学童保育の充実について

宗部 5月22日、安倍首相は横浜市内の学童保育を視察後「小学生の子供を放課後預かる学童保育、いわゆる放課後児童クラブを5年間で30万人分拡大したい」と支援を拡充する方針を明らかにした。

五條市も、少子化や人口減少を食い止めるため、働く女性が子育てと仕事を両立しやすい環境を整えるべきと考えるが、五條市の学童保育の現状と今後の安心・安全の徹底の取組について伺う。

あんしん福祉部長 本市では、公立が牧野・北宇智・宇智学童の3箇所、民営がなかよし・ちべんの2箇所が設置され、定員は合計160人で、本年5月末の登録児童の合計は234人である。

子供の安心・安全のため、登校時の集団登校、指導員の目の届く範囲での保育、出欠簿による出欠確認、帰宅時の保護者の迎いの確認等、児童の安全を確保している。

宗部 指導員と保育内容について尋ねる。

あんしん福祉部長 保育士や教員の資格を有する者を臨時職員として雇用し、指導員に充てている。

内容については、児童に対して健全で安全な遊びを通じた生活指導を行い、自由な学習等の機会を与える保育で、基本的には学習指導等は行っていない。

宗部 制度の抜本的な拡充、条件整備の向上を図ることが大切であると考えるので、今後とも更なる取組に御期待申し上げる。